



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 サイボー株式会社

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,033	6.7	1,142	△0.7	1,086	1.3	361	△22.2
23年3月期第3四半期	6,593	2.0	1,150	△7.8	1,072	△20.0	464	△33.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 511百万円 (265.4%) 23年3月期第3四半期 140百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	26.51	—
23年3月期第3四半期	34.06	34.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,795	13,708	44.2
23年3月期	27,035	13,387	42.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,842百万円 23年3月期 11,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,184	5.6	1,468	△2.3	1,412	△6.5	543	△14.5	39.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,000,000 株	23年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	359,462 株	23年3月期	359,462 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,640,538 株	23年3月期3Q	13,640,605 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災によるサプライチェーン被害と、福島原発事故による電力不足や放射能汚染で企業の生産が減少した状況から徐々に回復したものの、個人消費や設備投資は総じて低調に推移いたしました。また欧州の信用不安や米国の経済回復の遅れから急激な円高が進み、輸出企業を中心に円高による企業業績の下振れや株安基調が続く中で、国内の景気動向は依然として先行き不透明な状況となりました。

そのような中で、当社グループにおける事業環境は一部に円高の恩恵があるものの引続き厳しい状況になりましたが、主力の繊維事業は前期に達成した営業利益の黒字化を当期間においても維持することができました。収益の柱であります商業施設賃貸事業は、震災による施設の修理があったものの、集客力の維持強化をはかり、引続き安定した事業収入をあげております。

① 繊維事業

原糸販売は、海外の原料相場の急落を受けて一時荷動きが落ち込んだものの、その後の相場の戻りで荷動きも活発化するなど産業用一般資材織物の市況回復が続いて、輸入ポリエステル糸・レーヨンフィラメント糸および紡績糸の販売が好調に推移しました。特に機能素材（吸水速乾糸）および震災関連商品（ロープ向けビロン糸）の販売が伸びて大幅な増収となりました。アパレル関係は、主力販売先の百貨店への売上が総じて堅調に推移し、大口ユニフォームの受注が獲得できたことにより大幅な増収となりました。カジュアル縫製品関係は、自社企画商品「ユミカツラ（桂由美）」ブランドの百貨店販売店舗の拡大が順調に進み、ブランドの認知力が高まり既存店の売上が増えるなど、大幅な増収となりました。刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、震災後の需要不振から発注取り消しや引き取り延期などの影響があったものの、刺繍使いの商品の企画販売が増えて僅かな増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は31億23百万円（前年同期比14.2%増）となり、営業利益は前年同期に比べ23百万円改善して、22百万円を計上することができました。

② 商業施設賃貸事業

二つの大型商業施設への震災による影響は軽微なもので、「イオンモール川口前川（旧称 川口キャラ）」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性が高く評価されるなど、高い集客力を維持しております。賃料収入面においては、「イオンモール川口（旧称 川口グリーンシティ）」が賃貸期間の延長による賃料の引き下げがありましたが、商業施設賃貸事業は引続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は17億31百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は8億60百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、原発事故による計画停電や震災による自粛ムードの影響があったものの、若年プロゴルファーの活躍などの効果があり、若年層の入場者は増加傾向が続いて増収となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は8億4百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は1億57百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、少子化・免許離れによる入校生の減少は小康状態から徐々に増加、震災による影響も薄れて普通車・二輪車共に好調が続き、増収となりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、震災の影響から補修工事が増加したことにより大幅な増収となりました。

サイボー(株)のギフト事業部営業課の慶弔ギフト品販売は、震災後の自粛ムードによる行事の中止など、消費者の生活防衛意識がさらに強まる中、顧客の掘り起こしや販売提案力を強化して増収となりました。ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物のレンタル事業は安定した収入を確保、自動給水プランター「e-プランター」や自動給水ミニ鉢の販売が伸びて増収となりました。

自動車板金塗装修理事業は、トヨタ生産方式の生産性向上やネッツトヨタ東埼玉(株)との連携強化により僅かな増収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は13億73百万円(前年同期比19.4%増)、営業利益は1億7百万円(前年同期比69.6%増)となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は70億33百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は11億42百万円(前年同期比0.7%減)、経常利益は10億86百万円(前年同期比1.3%増)となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損の計上や法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることに伴い、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の増加により3億61百万円(前年同期比22.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

総資産は、たな卸資産や土地の購入による増加があったものの、有形固定資産の減価償却が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ2億40百万円減少して267億95百万円となりました。

負債は、未払法人税等が増加したものの、借入金や預り保証金の返済等により、前連結会計年度末に比べ5億61百万円減少して130億86百万円となりました。純資産は、配当金の支払いによる減少があったものの、四半期純利益の増加等により、前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加して137億8百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加して26億45百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ7億25百万円増加して11億86百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加、法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ2億10百万円減少して5億67百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加した一方、投資有価証券の取得による支出が大幅に減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ1億円増加して5億96百万円となりました。これは主に借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月6日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.5%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.8%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.4%となります。この税率変更により、繰延税金資産が55,807千円減少し、法人税等調整額は48,161千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,101,393	3,092,602
受取手形及び売掛金	1,020,243	1,036,804
有価証券	20,187	740,369
商品及び製品	466,364	539,933
仕掛品	15,162	16,927
原材料及び貯蔵品	36,687	39,753
その他	320,642	138,911
貸倒引当金	△15,353	△759
流動資産合計	4,965,327	5,604,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,375,813	11,052,055
土地	5,164,477	5,352,553
その他(純額)	121,267	88,702
有形固定資産合計	16,661,558	16,493,311
無形固定資産		
160,555	160,555	114,049
投資その他の資産		
投資有価証券	4,505,668	3,855,245
その他	776,010	756,335
貸倒引当金	△33,517	△28,277
投資その他の資産合計	5,248,161	4,583,303
固定資産合計	22,070,274	21,190,664
資産合計	27,035,602	26,795,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,267	459,307
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	31,447	405,200
賞与引当金	81,922	32,979
役員賞与引当金	6,200	4,650
その他	995,116	997,610
流動負債合計	1,964,953	2,109,747
固定負債		
長期借入金	1,225,000	1,067,500
退職給付引当金	245,809	209,676
役員退職慰労引当金	174,677	182,655
長期預り保証金	8,977,843	8,540,532
資産除去債務	—	26,351
その他	1,059,843	950,375
固定負債合計	11,683,172	10,977,091
負債合計	13,648,126	13,086,839

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	868,685	868,685
利益剰余金	9,716,135	9,891,679
自己株式	△252,076	△252,076
株主資本合計	11,734,744	11,910,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△141,921	△32,834
繰延ヘッジ損益	△35,402	△34,919
その他の包括利益累計額合計	△177,323	△67,754
新株予約権	23,500	25,009
少数株主持分	1,806,555	1,840,823
純資産合計	13,387,476	13,708,368
負債純資産合計	27,035,602	26,795,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,593,663	7,033,170
売上原価	4,325,697	4,783,309
売上総利益	2,267,965	2,249,860
販売費及び一般管理費	1,117,357	1,107,850
営業利益	1,150,608	1,142,010
営業外収益		
受取利息	13,366	14,700
受取配当金	37,967	39,897
持分法による投資利益	19,460	—
その他	21,725	52,923
営業外収益合計	92,519	107,521
営業外費用		
支払利息	92,247	82,009
有価証券運用損	18,620	35,744
持分法による投資損失	—	38,313
その他	59,727	6,997
営業外費用合計	170,594	163,064
経常利益	1,072,534	1,086,466
特別利益		
固定資産売却益	12,258	48,484
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	12,266	48,484
特別損失		
固定資産除却損	50,191	—
固定資産売却損	5,524	—
投資有価証券評価損	526	327,643
立退補償金	510,000	—
特別損失合計	566,243	327,643
税金等調整前四半期純利益	518,557	807,307
法人税、住民税及び事業税	92,512	496,333
法人税等調整額	55,973	△92,609
法人税等合計	148,486	403,723
少数株主損益調整前四半期純利益	370,071	403,584
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△94,578	41,975
四半期純利益	464,650	361,608

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	370,071	403,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224,893	114,787
繰延ヘッジ損益	1,099	482
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,271	△7,223
その他の包括利益合計	△230,065	108,046
四半期包括利益	140,006	511,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,734	471,177
少数株主に係る四半期包括利益	△96,728	40,452

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	518,557	807,307
減価償却費	635,510	598,026
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,526	△19,834
賞与引当金の増減額(△は減少)	△51,439	△48,943
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,420	△1,550
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19,834	△36,132
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,463	7,978
受取利息及び受取配当金	△51,333	△54,597
支払利息	92,247	82,009
持分法による投資損益(△は益)	△19,460	38,313
有価証券運用損益(△は益)	18,620	35,744
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	—
投資有価証券評価損益(△は益)	526	327,643
売上債権の増減額(△は増加)	△41,616	△13,623
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,514	△78,399
仕入債務の増減額(△は減少)	49,491	19,039
長期未払金の増減額(△は減少)	505,000	—
預り保証金の増減額(△は減少)	△467,843	△438,310
その他	△96,613	110,225
小計	994,860	1,334,896
利息及び配当金の受取額	59,183	63,041
利息の支払額	△91,730	△81,492
法人税等の支払額	△500,812	△129,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	461,501	1,186,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	66,333	—
有形固定資産の取得による支出	△223,968	△401,661
有形固定資産の売却による収入	160,466	96,827
投資有価証券の取得による支出	△932,406	△292,399
投資有価証券の売却による収入	128,884	—
定期預金の増減額(△は増加)	22,977	31,296
貸付けによる支出	△24,000	△20,500
貸付金の回収による収入	24,000	14,500
その他	△426	4,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△778,139	△567,620

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△650,000
長期借入金の返済による支出	△157,500	△157,500
配当金の支払額	△186,065	△186,064
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△6,184
その他	△46,469	△47,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△496,219	△596,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△812,856	22,506
現金及び現金同等物の期首残高	3,216,640	2,622,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,403,783	2,645,184

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他の事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,734,950	1,920,155	788,608	5,443,714	1,149,948	6,593,663	—	6,593,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,600	201,573	—	207,173	175,755	382,928	(382,928)	—
計	2,740,550	2,121,728	788,608	5,650,888	1,325,704	6,976,592	(382,928)	6,593,663
セグメント利益 又は損失(△)	△1,130	979,324	119,364	1,097,559	63,235	1,160,795	(10,186)	1,150,608

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他の事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	3,123,664	1,731,259	804,661	5,659,585	1,373,584	7,033,170	—	7,033,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,300	192,873	—	199,173	138,325	337,499	(337,499)	—
計	3,129,964	1,924,133	804,661	5,858,759	1,511,910	7,370,670	(337,499)	7,033,170
セグメント利益	22,378	860,490	157,794	1,040,663	107,267	1,147,930	(5,920)	1,142,010

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。